

登録コード	TSX11500	開講年度	2026				
授業科目	サステナブル建築設計学実験					担当教員	高村 秀紀
英文授業名	Experiments in Sustainable Building Design					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士課程1年生
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				⇔	LCC02を削減するための建築的手法を習得する。	
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ, 2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	LCC02を削減する各要素のC02削減効果を定量化することが出来るようになる。	
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	LCC02を削減する住宅を計画できるようになる。	
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	講義時のプレゼンテーションを通して分かりやすいプレゼンテーションができるようになる。	
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	・理論的なプレゼンテーションができるようになる。 ・ほかの受講生のプレゼンテーションについて妥当性の可否を発言することが出来るようになる。	
(2)授業の概要	実在の住宅に対して実測調査を行いLCC02の実態を明らかにする。						
(3)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回～第3回：計測機器の目的及び取り扱い方について 第4回～第8回：室内温湿度計測と生活スケジュール調査及びレポート作成 第9回～第13回：電力消費量の計測及びレポート作成 第14回～第18回：水道消費量の計測及びレポート作成 第19回～第23回：建築資材及び副産物重量の計測及びレポート作成 第24回～25回：まとめ 第26回～第30回：レポート発表・ディスカッション						
(4)成績評価の方法	出席及びレポートにより総合的に判断する。						
(5)成績評価の基準	(i) 計測機器の目的と使い方が習得でき, (ii) 計測機器の設置ができており, (iii) データを収集して分析できており, (iv) 取得データの分析と解析が十分にできており, (v) 取得データの分析と解析に基づき、自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	1単位当たり『45時間から授業時間を引いた時間量』の自主学習時間が課せられている。計測機器の使用方法などについて予習し、データの分析方法や統計処理について復習を行う必要がある。						
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	実験中に質疑応答の時間を設ける。実験中に対応できない場合は実験終了後受け付ける。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						